

事業番号	09 04 31	事業改善シート (27年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	和牛の受精卵確保緊急対策事業				担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	H27 ~ H28		

1 事業の概要

目指す姿	受精卵を供給する「優良繁殖牛の所有者」、受精卵を移植し和子牛を生産する「酪農家」、和子牛を受け入れて育成・肥育する「肉牛農家」からなる受精卵移植(ET)連携体制が強化され、受精卵移植技術の持続的な活用による和牛出生頭数の増加及び農家所得向上が図られている。		
------	--	--	--

現状(予算編成時)	和牛出生頭数の減少に伴う子牛価格の高騰や受胎率の向上等により、全国的に受精卵移植の需要が増加している。遺伝的産肉能力に優れた繁殖牛からの受精卵採取を進めているが、採卵による空胎期間延長等の懸念から、受精卵を利用しない所有者は採卵に消極的である。全国最大の受精卵供給元である全農ET研究所では、全国からの注文が殺到し需要を満たす供給が困難となっている。		
-----------	---	--	--

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 農産物産出額の向上のため、和牛生産基盤の強化が必要である。家畜改良増殖法
	県民との協働による実施: 実施中	

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)					
	受精卵移植連携体制による採卵数360卵 (設定理由: 現在不足している和牛の受精卵について、2年間の事業実施で需要量の90%を確保することを目指し360卵と設定)					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H27事業実績			
			H27 (当初)	H27 (決算)	H28 (当初)	
ET連携体制の構築及び和牛受精卵の確保	補助金	・連携体制の構築(12体制)、繁殖牛からの採卵数(557卵) ・採卵協力費への補助(補助先:連携体制)	3,300	3,160	3,300	
ET連携体制の構築支援	直接	情報収集及びマッチングを通じた受精卵移植連携体制の構築支援	115	70	115	
			合計	3,415	3,230	3,415

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算	-	-	3,415	3,415
	補正予算				
	合計(A)	0	0	3,415	3,415
	一般財源	-	-	3,415	3,415
	県債				
	国庫支出金				
	その他	0	0	0	0
	決算額(B)	-	-	3,230	
概算職員数(人)			1.30	1.30	
概算人件費			10,759	10,759	
概算人件費(C)	0	0	10,759	10,759	
概算事業費(B(A)+C)	-	-	13,989	14,174	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
体制による採卵数	-	360卵	557卵	達成	360卵

目標に対する成果の状況	ET連携体制の構築支援を行うことで、繁殖農家、酪農課、肥育農家からなる12の連携体制が構築され、557卵の確保ができ、十分な受精卵を供給できる体制ができた。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 構築された連携体制における採卵の推進と、新たな連携体制の構築を図り、受精卵の確保を図る。
--------------------	---